



## 館林市制施行 70 周年記念・館林市立資料館企画展

「没後 80 年、よみがえる石井清夫―戦前の館林に  
美術の種をまいた画家―」開催のお知らせ

■石井清夫(1904～1944)は、明治 37 年(1904)7 月 24 日に、石井清三郎とミチの長男として生まれました。大正 11 年(1922)3 月、栃木県の旧制大田原中学校を卒業し、東京美術学校(現東京藝術大学)に入学します。美術学校在学中に、西洋画科同期生全員により「上社会(じょうとかい)」というグループを結成しました。卒業後は、昭和 3 年(1928)10 月から、旧制館林中学校(現群馬県立館林高等学校)に 13 年間奉職しました。

■館林では、美術教師として多くの教え子たちを育てる傍ら、青塵社(せいじんしゃ)や菱筍社(とうじゅんしゃ)などの洋画グループの要となって活動し、展覧会を開催しました。しかし、日本の戦時色が濃くなると、昭和 16 年(1941)に館林から出征し、インド北東部のインパール作戦に参加。昭和 19 年(1944)8 月 25 日に 40 歳でビルマにおいて戦病死しました。

■館林市内には、石井清夫が勤務した群馬県立館林高等学校に作品が残されているほか、令和 3 年(2021)には、館林市史の調査によりご遺族が作品やスケッチ帳、はがきなど 1,000 点を超える資料を保管していたことがわかりました。さらに令和 5 年(2023)には、交友のあった深井修次氏のご遺族のもとで、新たな作品が発見されました。

■令和 6 年度(2024)は、石井清夫の没後 80 年にあたる年です。このたび、今まで埋もれていた新たな資料の発見に伴い、館林の戦前の美術界を牽引した画家石井清夫について、この展示会をきっかけによりよみがえらせ、今後のさらなる顕彰に繋がれば幸いです。

会 期：令和 7 年 1 月 18 日(土)～令和 7 年 3 月 9 日(日)

主 催：館林市教育委員会

会 場：館林市第一資料館（館林市城町 3-1 館林市立図書館内）

休 館 日：月曜日(ただし 2/24 は除く)、1/31(金)、2/12(水)、2/25(火)、2/28(金)

開 館 時 間：午前 9 時から午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

入 館 料：無 料

展示解説会：2/2(日)、3/2(日)午前 11 時～(30 分程度) \*直接会場へお越しください。

\*詳細は、チラシをご覧ください

## 展 示 構 成

■第 I 章「大田原での少年時代(1904～1922)」

■第 II 章「東京美術学校入学・上社会結成(1922～1927)」

■第 III 章

(1)「旧制館林中学校の図画教師として(1928～1934)」

(2)「青塵社と菱筍社での活躍(1935～1941)」

■第 IV 章「出征、インパールへ(1942～1946)」

■第 V 章「没後のエピソード(1947～)」

## 問合せ先

館林市教育委員会

文化振興課 文化財係 担当：田沼

〒374-0018 群馬県館林市城町 3-1

電話：0276-74-4111

FAX：0276-74-4113

メール：bunka@city.tatebayashi.gunma.jp

X アカウント：@tatebayashi\_mus



<令和7年>

2025

1

18

(土)

3

9

(日)

1階常設展示室(奥)  
+2階展示室

館林市第一資料館

(館林市立図書館内)

〒374-0018

群馬県館林市城町 3-1

入館無料

[開館時間]

9:00~17:00

(入館は16:30まで)

[休館日]

月曜日(2/24はのぞく)、

1/31(金)、2/12(水)、

25(火)、28(金)



主催 館林市教育委員会

問合せ：館林市教育委員会(文化振興課文化財係) 〒374-0018 群馬県館林市城町 3-1 /TEL (0276)74-4111

館林市立資料館企画展

館林市制施行70周年記念

# 没後80年、 よみがえる 石井清夫

戦前の館林に  
美術の種を  
まいた画家



《題名不詳(城沼と少女)》(1928~1941) 個人蔵





「伊豆の山」1934 群馬県立館林高等学校蔵



石井清夫



「花」(1928～1941) 個人蔵

| 西暦   | 年号   | 年齢 | 略歴                                                                   |
|------|------|----|----------------------------------------------------------------------|
| 1904 | 明治37 | 0  | 7月24日、石井清三郎の長男として誕生。                                                 |
| 1922 | 大正11 | 18 | 東京美術学校（現東京藝術大学）西洋画科へ入学。                                              |
| 1928 | 昭和3  | 24 | 旧制館林中学校（現群馬県立館林高等学校）で絵画科担当（嘱託職員）として奉職。                               |
| 1934 | 昭和9  | 30 | 正式な教員免許状を受け、旧制館林中学校教諭になる。<br><br>第21回光風会展に《伊豆の山》を出品。                 |
| 1935 | 昭和10 | 31 | 邑楽郡内小中学校教員を中心とする青塵社結成。館林人社主催第1回美術展覧会を開催のち、冬筍社を結成。4～5年にわたって展覧会を開催する。  |
| 1937 | 昭和12 | 33 | 千葉県印旛郡佐倉町（現佐倉市）梅村鮮と結婚。                                               |
| 1938 | 昭和13 | 34 | 長男晶夫誕生。また二年後には双子の長女彩子、二女陽子が誕生。                                       |
| 1944 | 昭和19 | 40 | インパール作戦に第33師団歩兵第214連隊第7中隊中尉として参加。<br>8月、アメーバ赤痢に罹患し、ビルマにて戦病死。陸軍大尉に昇進。 |
| 1947 | 昭和22 |    | 館林信用組合にて遺作展が開催。                                                      |
| 1984 | 昭和59 |    | 元生徒らにより『恩師陸軍中尉 石井清夫先生の最期』が刊行。                                        |
| 2020 | 令和2  |    | 群馬県立館林高等学校に《伊豆の山》《伊豆風景》が展示（現所蔵）。                                     |



◀ビルマの家屋と一緒に、「南の夜空さやけしコゝ椰子の梢の上にオリオンを見る 三つまでを数へし程の稚児なりし晶夫数へ見よオリオンの星」と詩が書かれている。

軍事郵便はがき「現地の家屋と人々の様子とオリオンの星」年不詳2月18日 石井晶夫宛 個人蔵

# 戦前の館林に 美術の種を まいた画家 石井清夫 よみがえる 没後80年、

石井清夫（1904～1944）は、明治37年（1904）7月24日に、石井清三郎とミチの長男として生まれました。

大正11年（1922）3月、栃木県の旧制大田原中学校を卒業し、東京美術学校（現東京藝術大学）に入学します。美術学校在学中に、西洋画科同期生全員により「上社会」というグループを結成しました。卒業後は、昭和3年（1928）10月から、旧制館林中学校（現群馬県立館林高等学校）に13年間奉職しました。

館林では、美術教師として多くの教え子たちを育てる傍ら、「青塵社」や「冬筍社」などの洋画グループの要となって活動し、展覧会を開催しました。しかし、日本の戦時色が濃くなると、昭和16年（1941）に館林から出征し、インド北東部のインパール作戦に参加。昭和19年（1944）8月25日に40歳でビルマにおいて戦病死しました。

館林市内には、石井清夫が勤務した群馬県立館林高等学校に作品が残されているほか、令和3年（2021）には、館林市史の調査によりご遺族が作品やスケッチ帳、はがきなど1,000点を超える資料を保管していたことがわかり、さらに令和5年（2023）には、交友のあった深井修次氏のご遺族のもとで、新たな作品が発見されました。

令和6年度（2024）は、石井清夫の没後80年にあたる年です。今まで埋もれていた新たな資料の発見に伴い、戦前の館林の美術界を牽引した画家石井清夫について、この展示会をきっかけによりみがえらせ、今後のさらなる顕彰に繋がれば幸いです。



館林市第一資料館  
〒374-0018 群馬県館林市城町 3-1（館林市立図書館内）



「一年二ヶ月」1942 個人蔵

## 展示構成

### ■ 第Ⅰ章

「大田原での少年時代（1904～1922）」  
…《人物画》、《田舎の風景》ほか

### ■ 第Ⅱ章

「東京美術学校入学・上社会結成（1922～1927）」  
…《伊豆の山》、《伊豆風景》ほか

### ■ 第Ⅲ章

(1) 「旧制館林中学校の図画教師として（1928～1934）」  
(2) 「青塵社と冬筍社での活躍（1935～1941）」  
…《題名不詳（城沼と少女）》ほか

### ■ 第Ⅳ章

「出征、激戦地インパールへ（1942～1946）」  
…《一年二ヶ月》ほか

### ■ 第Ⅴ章

「没後のエピソード（1947～）」  
…『恩師陸軍中尉 石井清夫先生の最期』ほか

## 関連行事

### ■ 展示解説会

2/2(日)、3/2(日) 11:00～  
（申込み不要・参加無料）

## 交通案内

#### ■ 東武伊勢崎線「館林駅」より

東口を出て約1km 直進、市役所前交差点を渡り、約200m 直進後左折（徒歩約20分）  
またはタクシーで館林市立図書館まで約10分

#### ■ 東北自動車道館林インターチェンジより

料金所を館林方面へ出て、  
国道354号線を約3km 直進、緑町交差点を右折、約1km 直進し市役所前交差点を右折、約200m 直進後左折、左側の市立図書館内（約15分）

■ 駐車場は、館林市文化会館か市立図書館の無料駐車場をご利用ください。